

2018年6月15日(金) メディカルはこだて第66号 掲載

『「二次検査専門外来」を開設』 健康管理センター 石田 宏文 副センター長・北原 あずさ 係長

函館中央病院は4月より「二次検査専門外来」を開設

二次検査対象者は少ない待ち時間での診察・検査が可能

石田 宏文 函館中央病院
健康管理センター副センター長

北原あずさ 函館中央病院
健康管理センター係長

函館中央病院(本橋雅壽病院長)は、今年4月から「二次検査専門外来」を開設した。新しく設けられた専門外来について、健康管理センターの石田宏文副センター長と同センター係長で保健師の北原あずささんに話を聞いた。

病院の各種健診は年間3万4千人を超える実績

同病院は昭和44年に健診事業を開始し、院内の高度医療機器を用いた施設内健診の「日帰り人間ドック」「1泊2日人間ドックコース」「脳ドック」、また自治体や企業・事業所などに訪問して行う巡回バス健診などの各種健康診断の事業を積極的に行っている。平成28年度の受診者数は人間ドック3300人、脳ドック580人、



健康管理センターの
石田宏文副センター長

自治体・企業などの住民健診が2万5千人など、年間で3万4千人を超える実績がある。石田医師は「当院は道南圏で初めて北海道がん診療連携指定病院の指定を受けましたが、高度ながん診療のほかにも各種がん検診に力を入れていきます」と語る。北海

道大学医学部を卒業後、同大学院第二外科に入局した石田医師は、北海道大学病院などで勤務経験を重ね、平成21年に函館中央病院健康管理センターの副センター長に就任した

病気の早期発見や
早期治療のための二次検査

同病院では健康診断の結果を今後の健康管理に生かしていくために、健診後のサポートに力を入れているが、そのひとつが二次検査専門外来の開設だ。人間ドックや各種健康診断など同病院の健康診断を受けた人だけを対象として「二次検査」の項目に合った採血等の検査を診察前に実施します。受診当日に検査結果を聞くことができるので、通常の外来よりも少

ない待ち時間で効率よく診察や検査を受けることが可能となりました。二次検査専門外来を開設した背景には「病気が初期であればあるほど自覚症状はほとんどないことが多く、症状を自覚する頃には病気が進行している場合が少なくないです。しかし、時間がないなどの理由で二次検査を受けずに放置する人が多いというのが現状で、このような方が受けやすくなることを期待しています」。現在は日本人の4人に1人が心臓病や脳卒中などが原因で亡くなっている。生活習慣病の危険因子には肥満や高血圧、高血糖、脂質異常などがあるが、これらが3つ以上あると心臓病のリスクが高くなる。「危険因子はそれぞれの異常が軽度であっても、リスクが重なる動脈

します。時間がない、症状がない等の理由で放置せず、病気の早期発見や早期治療のために必ず二次検査を受けることはとても重要です。健診の結果は医師が年齢や体重、病歴、生活背景などを考慮し判定する。同病院では、二次検査専門外来だけではなくその他の各診療

科の支援体制も充実している。「二次検査項目に対応した当院の各診療科の外来予約も可能で、二次検査の項目によっては、診察前に検査が実施できる体制になっています。健康診断は受けただけが肝心です。病気の早期発見・早期治療のために、必ず二次検査を受けるようにしてください」。

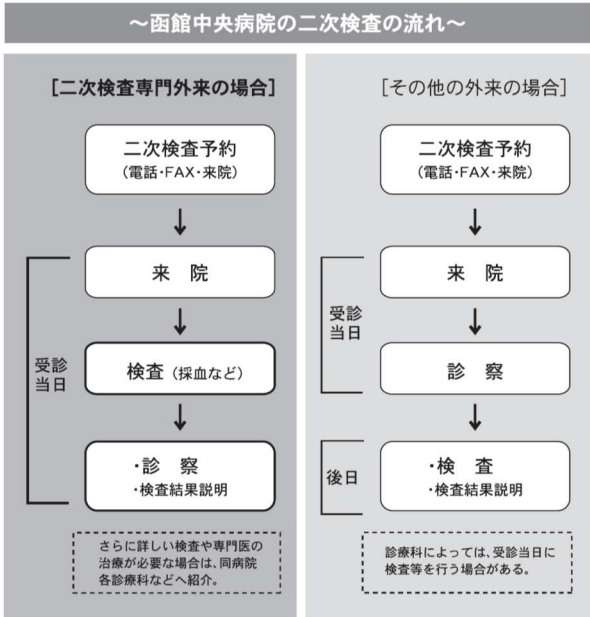
保健師による
二次検査受診の勧め

健康管理センターでは健康診断後に保健師による保健指導を実施し、二次検査の受診や生活改善アドバイスなど各種相談を行っている。健康診断受診後に結果を見てわからないことなどの疑問や質問に対して、電話での後日相談も実施している。希望によっては保健師が企業などを訪問し対応することも可能となっている。

二次検査を受けていない人に対しては、健康診断後の1カ月後と3カ月後に受診を勧める手紙を受診者の自宅へ送付している。また、健診後の各種検査結果によっては、早急に病院受診が必要な場合もある。緊急性が高い受診者に対しは、医師の指示により健診受診日の翌日に保健師から本人へ電話連絡を行っている。

二次検査専門外来はファックスや電話による予約が必要だ。「当日は診察予約時間の30分から1時間前に来院していただき、尿検査や採血などの検査を実施します。診察時にはそれらの検査結果が揃いますので、時間を有効に使うことができます」。

～函館中央病院の二次検査の流れ～



健康管理センター係長で
保健師の北原あずささん

二次検査専門外来の予約や問い合わせ等は同病院北棟4階の健康管理センターで受け付けている。問い合わせは、電話01338(5)1231へ。